

感染症ミニレター

高齢者の結核にご注意ください！

編集/発行 令和 7 年 9 月 12 日

兵庫県伊丹健康福祉事務所

(保健所) 健康管理課

TEL 072-785-2371

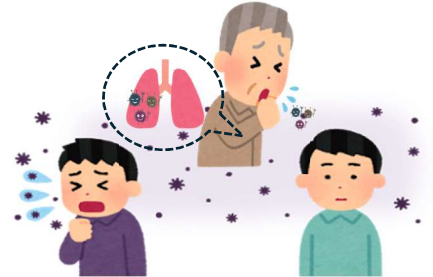
FAX 072-777-4091

伊丹健康福祉事務所管内では、令和 6 年の結核発病患者 27 名のうち、70 歳以上が 18 名（約 67%）でした。結核は昔の病気と思われがちですが、高齢者の結核患者は多く、結核死亡も後を絶ちません。今回の感染症ミニレターでは、結核の基礎知識をお伝えしていきます。

①結核とは？

結核は結核菌によって起こる感染症です。

せきやくしゃみに含まれた結核菌を吸い込むことで「感染」します。



②感染と発病の違いとは？

『感染』…結核菌を吸い込み、一部の菌が肺の奥まで吸い込まれ、からだの中に住み着くこと。免疫の力で菌が封じ込められているので、感染が成立したのみでは、症状はありません。



POINT①菌の多くは、鼻やのど、気管支の粘膜にひっかかり、からだの外に運び出されるため、接触した人すべてが感染するわけではありません。

POINT②昔は結核が大流行していたので、高齢者の約 10%が既に結核に感染しているといわれています。

感染しているけど発病していない状態＝潜在性結核感染症



『発病』…からだの中に住み着いた結核菌が、免疫力が弱くなった隙に、増殖を始めた状態。



POINT③：発病し、症状が進み、喀痰検査で排菌が確認されたときに周囲の人に感染させる可能性が出てきます。



感染後、実際に発病するのは、2～3 割程度です。感染してから半年～2 年の間と免疫力が弱った時に発病しやすくなります。一生発病しない人も多いです。

②こんな症状に要注意！

- ・咳や痰等の呼吸器症状
- ・微熱・身体のだるさ
- ・体重減少
- ・なんとなく食欲がない
- ・近頃、寝汗をかいている



左記の症状が 2 週間以上続いている場合や
一旦改善してもぶり返している場合

結核かも？



放置せず医療機関を受診しましょう！

高齢者は典型的な呼吸器症状が出ないことがあり、結核の発見が遅れる傾向にあります…

利用者さん、職員さんともに、明らかな症状がなくても

定期的な健診で胸部 X 線検査を受けることや

日々の体調確認が大切です！

